市内中小企業のDX推進に向けた支援事業内容（案）

2022年9月　長野市商工労働課

本事業の目指す姿

現状の姿

- 人手不足で、残業続き
- 社長も社員も疲弊
- モチベーション、業務効率の低下
- 新しいことにチャレンジする余裕なし
- インボイス等、環境変化への対応を求められているが、対応できない
- 変革が必要だと思っているが、今は目の前の仕事が優先

DX推進 →

理想の姿（生産性向上）

- 残業時間を減らしても、売上や利益を維持・向上
- 社員のモチベーション向上、会社への満足度上昇（エンゲージメント）
- 新しいことを学んで、どんどんチャレンジしていく風土が社内に浸透
- サプライチェーンの中の企業同士で協働して生産性向上を果たしている

DX推進企業を増やす → 市内企業の生産性向上 → 企業も社員も元気に → 「幸せ実感都市」の実現

中小企業のDX推進を阻む問題と解決すべき課題

問題

- DXの必要性を感じていない
- 時間的（精神的）余裕がない
- DXに関する知識が不足している（誤解がある）
- 気軽に相談できる人や窓口がない（知らない）
- 金銭的な余裕がない

課題（アクション）

- DX推進に対する意識づけ
- 支援策や事例等の情報提供
- 短時間で、DXの正しい知識を学べる機会の提供
- 企業の悩みやレベルに応じた相談体制の構築（伴走支援）
- 補助制度の創設（改善）

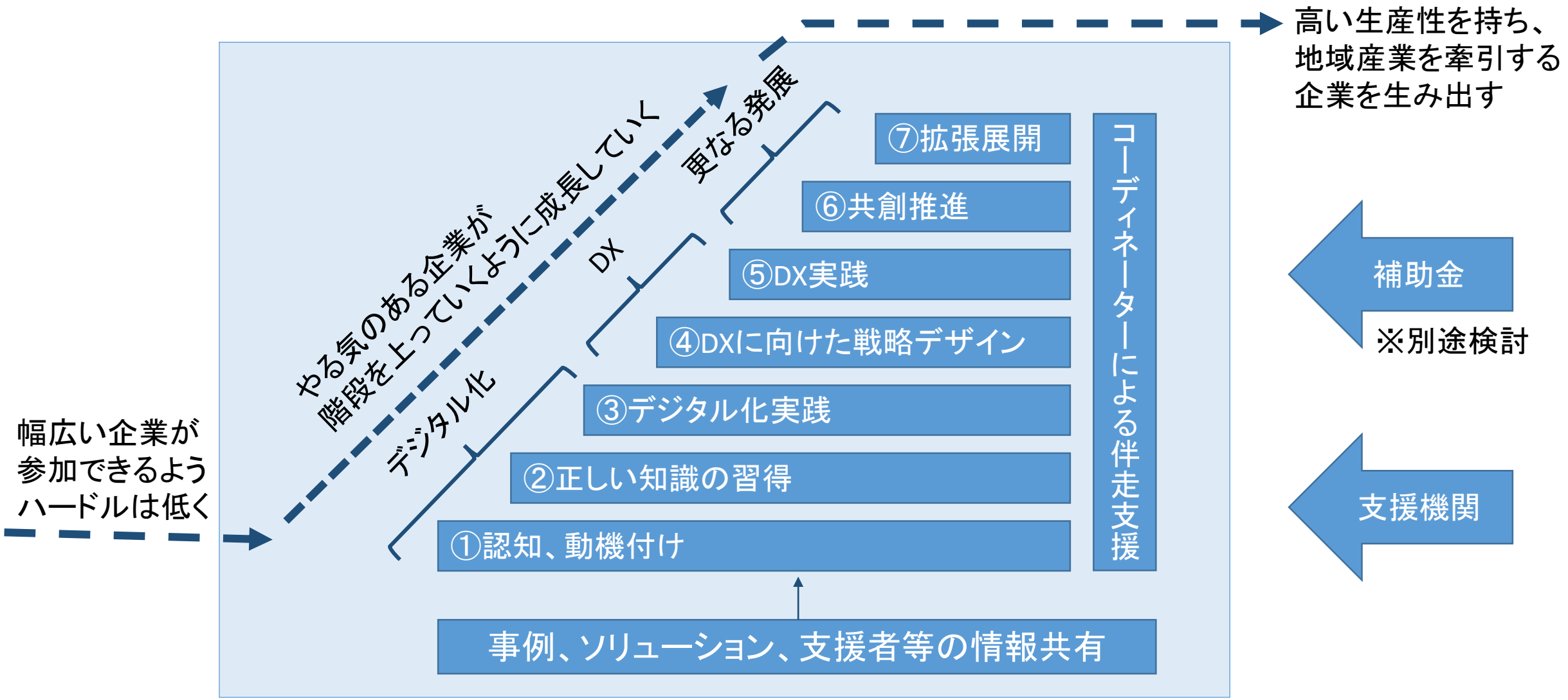
総合的なDX支援プラットフォーム

補助制度
（別途検討）

※考慮する点

- 市で支援し続けるのは困難　→　自立的に支援策を回す仕組みを考える必要がある
- DXの前提となる「デジタル化」の推進が先決　→　デジタル化からDXに進むルートを描く必要がある

中小企業DX推進事業の全体イメージ



支援内容（仮説）

機能	R4実証 デジタル化 ①認知 → ②知識習得 → ③実践	R5実証 DX ④戦略デザイン → ⑤実践	今後検討 更なる発展 ⑥共創推進 ⑦相互発達
動機付け	TV・チラシ イベント・セミナー	ワークショップ	企業の自主性に基づく 更なる経営改革・成長
情報提供	Webページ／動画 ソリューションDB	ソリューションDB	企業同士の連携による 企業を繋ぐDXの推進 （サプライチェーンDX等）
学習機会	E-Learning		生産性の更なる向上 本市経済をけん引する 中堅企業の創出
伴走支援	コーディネーター（オンライン／訪問） 支援機関	支援機関 ITプロ（副業）人材	